

番号	134	水害復興碑 町長 西村寿雄書		
所在地		太良町大字糸岐 2 6 5 2 陣之内公民館前		
災害別		昭和 3 7 年（ 1 9 6 2 ） 水害		
目的別		記念碑	建立年	昭和 4 0 年 4 月
特記事項				

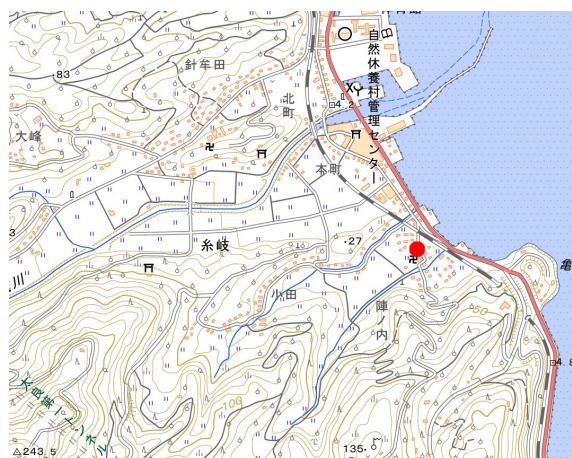


太良町陣ノ内の陣之内公民館前に建てられている昭和37年7月8日の水害復興碑。

この地区は多良岳山系から伸びる尾根に挟まれ、地区の両側を河川が流れており、碑文にあるように、水害など災害を受けやすい地形ではないかと推察する。似たような地形は鹿島から太良にかけて多くみられる。参考までに国土地理院電子国土Webの陰影起伏図を載せた。

碑文は摩耗し一部判読が困難である。そのため、太良町教育委員会編集発行の「太良町の記念碑と産業功労者」(昭和62年10月1日)に掲載されているものを一部引用する。

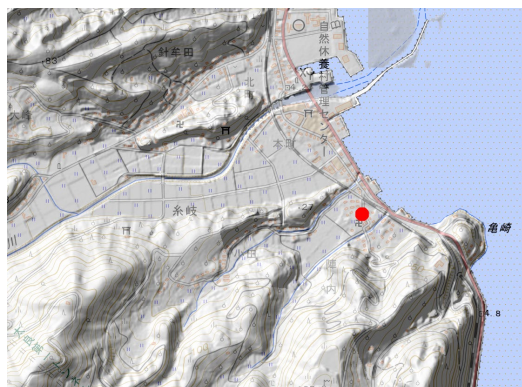
(側面)「復興の記録 当部落は豪雨のたびに家屋田畑の浸水になやまされていたが、昭和三十七年七月八日の町有史



国土地理院電子国土Web

未曾有の集中豪雨により、全部落が浸水の大被害をうけた。この事態を深く憂えた、西村町長関係者一同は、水害の難を防ぐため東奔西走し、関係河川の大改修が完成した。ここに町当局及び区民が災害を克服し禍を転じて福となした不屈の精神と、尊く献身的努力の記録をする。 昭和四十年四月三日」

（正面）「総工費 四、四二八万円 着工 昭和三十八年三月十二日 成工 昭和四十年三月四日」 （地元負担者等氏名、施工者 略） （原文はカタカナ表記）



国土地理院電子国土 Web 陰影起伏図